

## 特別の教育課程編成について（英語活動の実施）

### 1 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

小学校第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（1年生は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程 ※令和2年度版

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English

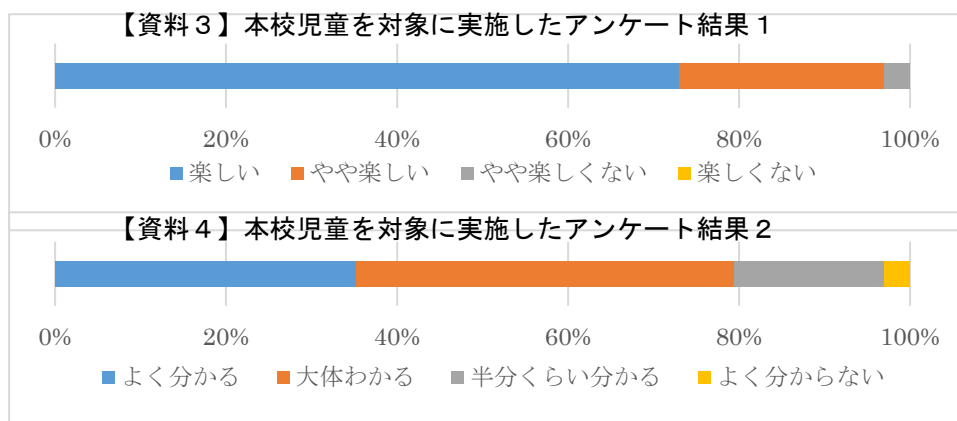


### 2 本校の取組

生平小学校では、毎日13時35分から13時45分を「英語タイム」としてDVDの視聴を行っています。月曜日と火曜日で新しい単元と出会い（インプット）、水曜日と木曜日でその内容を正しく理解（インテイク）し、金曜日には自信をもって発話（アウトプット）できるようにするという一連の流れの中で、多くのことを学んでいきます。内容の理解だけでなく、発音の面でも随分上達しています。

### 3 成果

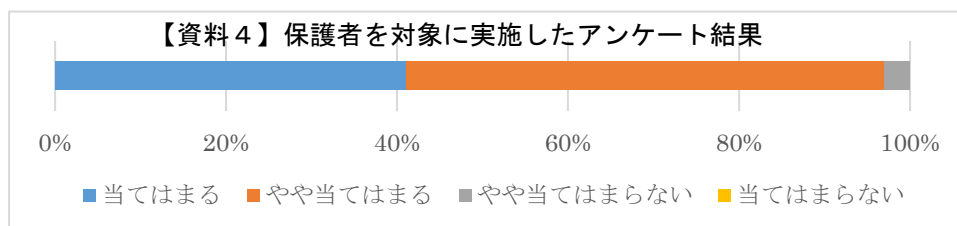
本年度の7月に1年生から4年生の児童を対象にアンケートを実施しました。「英語活動は楽しいですか。」という質問に対し、「楽しい」、「やや楽しい」と回答した児童は、全体の97%でした。また、「DVDの内容はわかりますか。」という質問に、「分かる」、「大体分かる」「半分くらい分かる」と回答した児童は、全体の97%でした。このことから、岡崎市の自作DVDが小学生の発達段階に合わせたものであること、そして「英語タイム」が本校の児童にとって、楽しく英語を学ぶ機会になっていると考えられます。



### 4 関係者からの評価

本年度の第1回の学校関係者評価委員会（7月8日実施）で、1～4年生の「英語タイム」を見ていただきました。評議員の皆さんからは、児童が英語の学習に、楽しそうに取り組んでいる様子が素晴らしいとの評価をいただきました。さらに、同日公開した高学年の英語科の授業の様子も見ていただき、「英語タイム」ので学びが、スムーズに高学年での英語科の学習に移行しているというお声をいただきました。

また、令和元年度に行った保護者向けの学校評価アンケート、「英語活動では、子供が英語に慣れ親しむようにしている。」の問いに対して、「当てはまる」、または「やや当てはまる」と答えた方が94%を占めるという結果でした。このことから本校における英語活動に対して、関係者の皆さんから一定の評価を得ているとの結論を得ました。



### 5 まとめ

以上のことから、本校での英語学習の取組は、6年間を見通したカリキュラムに基づき、児童の確かな学びを保証するものであると考えます。今後は、学習指導要領で必要とされている「学びに向う力、人間性」、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」の3つをバランスよく育むために、主体的・対話的で深い学びの視点から、授業の進め方や教材についての研究を進め、英語を一つのツールとして自分の思いを伝え合う力を育てていきたいと考えます。